

建築環境総合性能評価認証制度要綱

- 第1章 総則
- 第2章 財団による認証
- 第3章 認証機関による認証
- 第4章 地方公共団体による CASBEE の活用
- 第5章 雑則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 本要綱は、建築環境総合性能評価システム (Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency。以下、「CASBEE」という。) の適正な運用と普及を図るため、CASBEE による評価の的確性の確認 (CASBEE 評価認証。以下、単に「認証」という。) 等について必要な事項を定めるものである。

(用語の定義)

第2条 本要綱において、次の各号に掲げる用語の定義はそれぞれ各号に定めるところによる。

- 一 評価ツール CASBEE-戸建 (新築)、CASBEE-戸建 (既存)、CASBEE-住戸ユニット (新築)、CASBEE-建築 (新築)、CASBEE-建築 (既存)、CASBEE-建築 (改修)、CASBEE-インテリアスペース、CASBEE-短期使用、CASBEE-不動産、CASBEE-ウェルネスオフィス、CASBEE-HI(ヒートアイランド)、CASBEE-都市及びCASBEE-街区の各評価ツールをいう。
- 二 評価員 別に定める「CASBEE 評価員登録制度要綱」にて規定する CASBEE 評価員をいう。「CASBEE 戸建評価員」、「CASBEE 建築評価員」、「CASBEE 不動産評価員」及び「CASBEE ウェルネスオフィス評価員」の区分がある。
- 三 CASBEE 戸建評価認証 CASBEE 戸建評価員が CASBEE-戸建(新築)の評価ツールを用いて評価した結果について、認証を受けること。
- 四 CASBEE 建築評価認証 CASBEE 建築評価員が CASBEE-建築 (新築)、CASBEE-建築 (既存)、CASBEE-建築 (改修) の各評価ツールを用いて評価した結果について、認証を受けること。
- 五 CASBEE 不動産評価認証 CASBEE 不動産評価員が CASBEE-不動産の評価ツールを用いて評価した結果について、認証を受けること。
- 六 CASBEE ウェルネスオフィス評価認証 CASBEE ウェルネスオフィス評価員が CASBEE-ウェルネスオフィスの評価ツールを用いて評価した結果について、認証を受けること。
- 七 CASBEE 街区評価認証。CASBEE-街区の評価ツールを用いて評価した結果について、認証を受けること。

(認証の対象)

第3条 認証の対象は、CASBEE-戸建(新築)、CASBEE-建築(新築、既存、改修)、CASBEE-不動産、CASBEE-ウェルネスオフィス及びCASBEE-街区の最新のマニュアルが評価の対象とする建築物等とする。

2 ただし、CASBEE 建築評価認証については、前項の規定にかかわらず、原則として延べ面積が 300 m²以上のものに限る。

(申請者)

第4条 建築物等の認証を受けようとする者(以下、「申請者」という。)は、CASBEE 戸建評価認証、CASBEE 建築評価認証、CASBEE 不動産評価認証及びCASBEE ウェルネスオフィス評価認証の場合は、建築物等の建築主又は所有者とし、CASBEE 街区評価認証の場合は、建築物等の開発事業者又は所有者とすることを原則とする。

第2章 財団による認証

(申請)

第5条 申請者が、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター(以下、「財団」という。)に認証の申請をする場合は、財団に対し、次の各号に掲げる事項を記載した申請書兼掲載承諾書(様式1)及び財団が別に定める資料を提出しなければならない。

- 一 申請者の氏名及び住所
- 二 評価員の氏名及び評価員番号(CASBEE 街区評価認証を除く。)
- 三 認証を受けようとする建築物等の名称、用途及び建設地又は所在地
- 四 認証を受けようとする建築物等の概要
- 五 その他各認証に関して申請書兼掲載承諾書に定められた項目

2 申請者は、申請書兼掲載承諾書の提出をもって、認証を受けた建築物等(以下、「認証物件」という。)の認証の概要を、第8条に規定する財団ホームページにて公開することに同意したものとする。また、申請にあたり提出した評価ツールに入力されたデータについては、財団が、匿名化を図った上で、統計作成等に活用できることに同意したものとする。

(申請の引き受け)

第6条 財団は、前条第1項の申請があったときは、次の各号に該当していることを確認した上で、これを引き受けるものとする。

- 一 当該申請図書に不備がなく、かつ記載事項に漏れがないこと
- 二 当該申請内容に明らかな虚偽がないこと

2 財団は、前項各号の規定に該当しないと認める場合においては、その補正を求め、申請者がその補正に応じない場合又は十分な補正が行われない場合においては、引き受けできない理由を説明し、審査に係る図書を返還する。

3 認証業務の引き受けについては、別に定める「CASBEE 評価認証業務約款」によるものとする。

4 申請者は、前項に掲げる約款の合意を前提に認証費用を財団に支払うものとする。

(認 証)

第7条 財団は、前条に掲げる申請の引き受けをしたときは、別に定める「CASBEE 評価認証委員会設置規程」にて規定する次の各号の委員会及び審査部会（以下、「評価認証委員会等」という。）において審査し、その審査結果をもって認証するものとする。

- 一 評価認証委員会及び戸建審査部会（CASBEE 戸建評価認証の場合）
- 二 評価認証委員会及び建築審査部会（CASBEE 建築評価認証の場合）
- 三 評価認証委員会及び不動産審査部会（CASBEE 不動産評価認証の場合）
- 四 評価認証委員会及びWO 審査部会（CASBEE ウェルネスオフィス評価認証の場合）
- 五 評価認証委員会及び街区審査部会（CASBEE 街区評価認証の場合）

2 財団は、審査上必要があるときは、申請者に対して申請図書の修正、追加資料の提出等を求め、若しくは申請者の承諾を得て現地調査を行うことができるものとする。

3 申請者は、審査中に評価結果に影響を与える可能性のある設計変更や計画変更を行った場合は、速やかに財団に変更内容を通知し、変更部分に関連する資料を提出しなければならない。

4 前項の変更が大規模なものであると財団が認めた場合、申請者と財団が協議の上、申請者は審査中の申請を取り下げ、新たに認証の申請を行うものとする。

5 財団は、認証の対象となる建築物が建築基準法その他の法令に違反しているおそれが高いと認めるときは、申請者に対して通知し、認証業務を一時中断又は中止できるものとする。

(認証書の交付及び公表)

第8条 財団は、前条による認証を行ったときは、申請者に対し、認証書（様式2）、評価結果（様式3）、認証票（様式4）（以下、「認証書等」という。）を交付し、認証の概要を財団のホームページ等により公表する。

(認証の有効期間)

第9条 認証の有効期間は次の表に定める通りとする。

有効期間	認証物件で適用された評価ツール
竣工日（竣工前の場合には竣工予定日）から3年	CASBEE-戸建（新築）、CASBEE-建築（新築）
工事完了日（工事完了前の場合には工事完了予定日）から3年	CASBEE-建築（改修）
認証書を交付した日から5年	CASBEE-建築（既存）、CASBEE-不動産、CASBEE-ウェルネスオフィス、CASBEE-街区

(認証書等の表示)

- 第10条 認証を受けた者（以下、「認証取得者」という。）は、認証書等を、認証物件に関する説明等において表示することができる。ただし、前条に定める有効期間を過ぎた場合には表示を行うことはできない（有効期間を過ぎていることを、その表示と共に明らかに確認できる形で表示する場合を除く）。
- 2 認証票を使用する場合、次の各号の定めに従うものとする。
 - 一 認証票の全部またはその一部を改変または改ざんして使用してはならない
 - 二 ただし認証票はその大きさを縮小または拡大することを認め、白黒表示を可能とする
 - 三 認証票は、認証を受けた物件以外に使用してはならない。また、認証を受けていない物件を、認証を受けたものと第三者に誤認させるような表示をしてはならない
 - 3 財団は、認証の表示や公表に関し、必要があると認める場合、認証取得者に報告を求めることができる。

(変更届の提出)

- 第11条 認証取得者は、認証の有効期間内に、認証書に記載された認証物件の名称、申請者名、建設地又は所在地の表記に変更が生じた場合には、財団に変更届を提出して認証書の再発行を受けることができる。
- 2 認証取得者からその地位の譲渡を受けた者が、前項に定める認証書の再発行を受ける場合は、変更届に加えて、認証取得者の地位の譲渡を受けたことを証明する書面を提出しなければならない。
 - 3 前二項の定めにより認証書の再発行を受けたときは、従前の認証書は、無効とする。

(認証の取消)

- 第12条 財団は、次の各号のいずれかに該当する場合には、認証を取り消し又は無効とすることができる。なお、第二号及び第三号については、評価認証委員会等の意見を聴くものとする。
- 一 認証を受けた者が認証の取消を申請した場合
 - 二 認証物件の実態が認証内容と著しく乖離している場合
 - 三 認証書の改ざんその他の不誠実な行為が行われた場合

(免責事項)

- 第13条 認証は、認証物件が建築基準法その他関係法令に適合することについては保証しない。
- 2 認証は、認証物件に瑕疵がないことについては保証しない。
 - 3 財団は、審査に係る図書に虚偽があったことが認証書の交付後に発覚した場合、当該認証の結果について責任を負わないものとする。

第3章 認証機関による認証

(認証機関)

- 第14条 財団は、第3条から第13条までを準用して認証の業務を行う者（CASBEE 評価認証機関。以下、単に「認証機関」という。）を認定することができる。
- 2 前項の認定は、別に定める「CASBEE 評価認証機関認定制度要綱」より行うものとする。
 - 3 第2項による認定を受けた者以外の者は、「CASBEE 評価認証」という名称を使用してはならない。

第4章 地方公共団体による CASBEE の活用

(CASBEE 地域版の開発・運用)

- 第15条 地方公共団体は、地域性や政策等を勘案して CASBEE に改変を加え、CASBEE の地方公共団体版（以下、「CASBEE 地域版」という。）を開発・運用することができるものとする。
- 2 地方公共団体は、CASBEE に改変を加える場合は、原則として、次の各号を順守するとともに、あらかじめ書面により財団の承諾を得るものとする。
 - 一 評価内容の改変は大項目、中項目、小項目のうち小項目の範囲にとどめること。
 - 二 評価項目の名称の改変については、評価内容を逸脱しない範囲にとどめること。
 - 3 地方公共団体は、CASBEE の名称又はロゴマークを利用して CASBEE 地域版独自の名称又はロゴマークを作成し、使用する場合は、商標権について財団と協議するものとする。
 - 4 地方公共団体は、開発した CASBEE 地域版の評価ツール及び評価マニュアル等関係資料を財団に提出するとともに、CASBEE 地域版を利用した届出制度等を設けた場合は、届け出状況等を年度毎に財団に報告するものとする。

(CASBEE 地域版についての免責事項)

- 第16条 地方公共団体が開発した CASBEE 地域版に基づく評価については、地方公共団体が責任を負うものとする。

(地方公共団体による認証)

- 第17条 地方公共団体は、第14条に定める認定を受けて、CASBEE 地域版に係る認証業務を行うことができるものとする。

第5章 雑 則

(連絡会議)

- 第18条 財団は、CASBEE 評価ツール及び認証等に関する情報交換を目的として、CASBEE 評価認証機関等連絡会議（以下、「連絡会議」という。）を設置する。

2 連絡会議の構成員は、財団の他、認証機関及び CASBEE 地域版の運用を行う地方公共団体とし、連絡会議の事務局は、財団とする。

(守秘義務)

第 19 条 財団の関係者は、本要綱による業務において知り得たことを漏らしてはならない。

2 本要綱第 2 章の評価認証委員会等及び第 4 章の CASBEE 研究開発委員会は、非公開とし、財団の関係者と同等の守秘義務を負うものとする。

(その他)

第 20 条 本要綱に定めるほか、本制度の事業運営上必要な事項については、財団が定めるものとする。

付 則

この規程は平成 16 年 4 月 27 日から施行する。

一部改正 平成 17 年 4 月 1 日

一部改正 平成 27 年 6 月 19 日

一部改正 令和 4 年 4 月 1 日

CASBEE 自治体版運用規程は廃止する。

一部改正 令和 7 年 6 月 20 日

(様式1-1 第5条第1項関係：申請書) (CASBEE戸建評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
理事長 殿

申請者 会社名
代表者名
所在地

CASBEE戸建評価認証申請書兼掲載承諾書

建築環境総合性能評価認証制度要綱に基づく認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

1 建物名称・所在地	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	建物名称：
	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	所在地： (市町村名迄)
2 設計者・施工者	非公開	設計者：
		施工者：
3 建物用途・規模	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	用途： その他の用途※ () ※評価対象以外の用途が含まれる場合
	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	延べ面積： m ² 地上 階、地下 階 (うち評価対象範囲の延べ面積： m ²)
4 竣工年月日	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	年 月 日 (新築は予定でも可)
5 CASBEE評価ツール	公開	CASBEE-戸建 (新築) (年版)
6 評価者氏名 ※評価を実施した者の氏名を記載	非公開	会社名： 氏名： CASBEE-戸建評価員登録番号：
7 申請者	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	個人/法人名：
8 連絡担当者 ※連絡をさせて頂く際の担当者を記載	非公開	会社名： 所属・役職名： 氏名： 住所： 連絡先：(電話) (E-mail)
9 物件画像(CG可)	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	
10 評価結果書	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	
11 評価ランク	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	
備考	認証後、上記の公開項目に加えて、認証日、有効期限とともにIBECsのホームページに掲載されます。また、申請に添付した評価ツールのデータについては、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。	

以上

注) □の部分、■または☑により項目を選択して下さい。

(様式1-2 第5条第1項関係：申請書) (CASBEE建築評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
理事長 殿

申請者 会社名
代表者名
所在地

CASBEE建築評価認証申請書兼掲載承諾書

建築環境総合性能評価認証制度要綱に基づく認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

1 建物名称・所在地	公開	建物名称：
	公開	所在地： (市町村名迄)
2 設計者・施工者 ※既存建物は確認可能な場合のみ	非公開	設計者：
		施工者：
3 建物用途・規模	公開	用途： その他の用途※ () ※評価対象以外の用途が建物内に含まれる場合
	公開	延べ面積： m ² 地上 階、地下 階
4 竣工年月日	公開	年 月 日 (新築は予定でも可)
5 CASBEE評価ツール	公開	CASBEE-建築 () (年版)
6 評価段階	公開	<input type="checkbox"/> 基本設計段階 <input type="checkbox"/> 実施設計段階 <input type="checkbox"/> 竣工段階 ※評価ツールがCASBEE建築(新築)の場合のみ記入
7 評価者氏名 ※評価を実施した者の氏名を記載	非公開	会社名： 氏名： CASBEE-建築評価員登録番号：
8 申請者	公開	法人名：
9 連絡担当者 ※連絡をさせて頂く際の担当者を記載	非公開	会社名： 所属・役職名： 氏名： 住所： 連絡先：(電話) (E-mail)
10 物件画像(CG可)	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	非公開にできるのは完成写真がない場合のみです。
11 スコアシート	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	任意の掲載項目ですが、積極的公開をお願い致します。
備考 認証後、上記の公開項目に加えて、評価結果書、評価ランク、認証日、有効期限とともにIBECsのホームページに掲載されます。また、申請に添付した評価ツールのデータについては、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。		

以上

注) □の部分は、■または☑により項目を選択して下さい。

(様式1-3 第5条第1項関係：申請書) (CASBEE 不動産評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター
理事長 殿

申請者 会社名
代表者名
所在地

CASBEE不動産評価認証申請書兼掲載承諾書

建築環境総合性能評価認証制度要綱に基づく認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

1 建物名称・所在地	公開	建物名称：
	公開	所在地： (市町村名迄)
2 建物用途・規模	公開	用途： その他の用途※ () <small>※評価対象以外の用途が建物内に含まれる場合</small>
	公開	延べ面積： m ² 地上 階、地下 階 (うち評価対象範囲の延べ面積： m ²)
3 竣工年月日	公開	年 月 日 (新築は予定でも可)
4 CASBEE評価ツール	公開	CASBEE-不動産 (年版)
5 評価者氏名 <small>※評価を実施した者の氏名を記載</small>	非公開	会社名： 氏名： CASBEE-不動産評価員登録番号：
6 申請者	公開	法人名：
7 連絡担当者 <small>※連絡をさせて頂く際の担当者を記載</small>	非公開	会社名： 所属・役職名： 氏名： 住所： 連絡先：(電話) (E-mail)
8 物件画像(CG可)	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	非公開にできるのは完成写真がない場合のみです。
備考 認証後、上記の公開項目に加えて、評価結果書、評価ランク、認証日、有効期限とともにIBECsのホームページに掲載されます。また、申請に添付した評価ツールのデータについては、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。		

以上

注) □の部分は、■またはにより項目を選択して下さい。

(様式1-4 第5条第1項関係：申請書) (CASBEE ウェルネスオフィス評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
理事長 殿

申請者 会社名
代表者名
所在地

CASBEE ウェルネスオフィス評価認証申請書兼掲載承諾書

建築環境総合性能評価認証制度要綱に基づく認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

1 認証タイプ	公開	<input type="checkbox"/> タイプ1：CASBEEウェルネスオフィス <input type="checkbox"/> タイプ2：CASBEEスマートウェルネスオフィス
2 建物名称・所在地	公開	建物名称：
	公開	所在地： (市町村名迄)
3 設計者・施工者 ※既存建物は確認可能な場合のみ	非公開	設計者：
		施工者：
4 建物用途・規模	公開	用途： その他の用途※ () ※評価対象とした事務所以外の用途が建物内に含まれる場合
	公開	延べ面積： m ² 地上 階、地下 階 (うち評価対象範囲の延べ面積： m ²)
5 竣工年月日	公開	年 月 日 (新築は予定でも可)
6 建築環境総合性能評価の区分 ※タイプ2のみ記入	非公開	<input type="checkbox"/> CASBEE建築認証 (認証番号：) <input type="checkbox"/> CASBEE不動産認証 (認証番号：) <input type="checkbox"/> CASBEE自主評価登録 (自主評価登録番号：) <input type="checkbox"/> 自治体版CASBEE届出 (自治体名：)
7 建築環境総合性能評価ランク ※タイプ2のみ記入	公開	ランク (取得済の場合)
8 CASBEE評価ツール	公開	CASBEE-ウェルネスオフィス (年版)
9 評価者氏名 ※評価を実施した者の氏名を記載	非公開	会社名： 氏名： CASBEE-ウェルネスオフィス評価員登録番号：
10 申請者	公開	法人名：
11 連絡担当者 ※連絡をさせて頂く際の担当者を記載	非公開	会社名： 所属・役職名： 氏名： 住所： 連絡先：(電話) (E-mail)
12 物件画像(CG可)	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	非公開にできるのは完成写真がない場合のみです。
13 スコアシート	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	任意の掲載項目ですが、積極的公開をお願い致します。
備考 認証後、上記の公開項目に加えて、評価結果書、評価ランク、認証日、有効期限とともにIBECsのホームページに掲載されます。また、申請に添付した評価ツールのデータについては、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。		

以上

注) □の部分は、■または☑により項目を選択して下さい。

(様式1-5 第5条第1項関係：申請書) (CASBEE 街区評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
理事長 殿

申請者 会社名
代表者名
所在地

CASBEE街区評価認証申請書兼掲載承諾書

建築環境総合性能評価認証制度要綱に基づく認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

1 名称・所在地 ※対象区域に含まれる住所 を町丁単位まで記入	公開	プロジェクト名称：
	公開	所在地：
2 地域・地区	公開	用途地域：
3 着工・竣工時期	公開	(着工) 年 月～(竣工予定) 年 月
4 関連事業 ※CASBEEの評価に関連 する法定事業名を記載	公開	(例：地区計画、再開発事業等)
5 対象区域面積	公開	m ²
6 CASBEE評価ツール	公開	CASBEE-街区 (年版)
7 評価段階	公開	<input type="checkbox"/> 計画段階 <input type="checkbox"/> 事業中 <input type="checkbox"/> 竣工段階
8 申請者	公開	法人名：
9 連絡担当者 ※連絡をさせて頂く際の 担当者を記載	非公開	会社名： 所属・役職名： 氏 名： 住 所： 連絡先：(電話) (E-mail)
備考 認証後、上記の公開項目に加えて、評価結果書、評価ランク、認証日、有効期限とともにIBECsのホームページに掲載されます。また、申請に添付した評価ツールのデータについては、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。		

以上

注) □の部分は、■または☑により項目を選択して下さい。

(認証番号)

CASBEE戸建評価認証書

建築環境総合性能評価認証制度要綱第7条の規定に基づく審査の結果、CASBEEによる戸建住宅の評価結果が下記の通り的確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) () ランク

建 物 名 称 :
申 請 者 :
建 設 地 :
評 価 段 階 :
評 価 ツール :
有 効 期 限 :

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
理 事 長

(認証番号)

CASBEE 建築評価認証書

建築環境総合性能評価認証制度要綱第7条の規定に基づく審査の結果、CASBEEによる建築物の評価結果が下記の通りの確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) () ランク

建 物 名 称 :
申 請 者 :
建 設 地 :
評 価 段 階 :
評 価 ツール :
有 効 期 限 :

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
理 事 長

(認証番号)

CASBEE 不動産評価認証書

建築環境総合性能評価認証制度要綱第7条の規定に基づく審査の結果、CASBEE-不動産による評価結果が下記の通りの確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) () ランク (点)

建 物 名 称 :
(区分所有物件・部分評価の場合の特記記入欄)
申 請 者 :
所 在 地 :
評 価 ツール :
有 効 期 限 :

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
理 事 長

(認証番号)

CASBEE ウェルネスオフィス評価認証書

建築環境総合性能評価認証制度要綱第7条の規定に基づく審査の結果、CASBEE ウェルネスオフィスによる評価結果が下記の通りの確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) () ランク (点)

建物名称 :
申請者 :
所在地 :
評価ツール :
有効期限 :

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター
理 事 長

(認証番号)

C A S B E E 街区評価認証書

建築環境総合性能評価認証制度要綱第 7 条の規定に基づく審査の結果、C A S B E E 一街区による評価結果が下記の通りの確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) () ランク

プロジェクト名称 :
申 請 者 :
評 価 段 階 :
評 価 ツ ー ル :
有 効 期 限 :

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築 S D G s 推進センター
理 事 長

(様式3-1 第8条第1項関係：評価結果) (戸建・SDGsチェックリスト有りの場合)

CASBEE[®]-戸建(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2025年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH_NC_2025v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	25年戸建住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	0.00
竣工年月	1900年1月	予定		持ち込み家電等	0
建設地	0			外構の仕様	0
用途地域	0	確定	〈備考〉		
省エネルギー地域区分	5 地域				
構造・構法	0	0			
階数	0				
敷地面積	0 m ²	0	評価の実施日		
建築面積	0 m ²	0	作成者		
延床面積	121 m ²		確認日		
世帯人数	0	0	確認者		

外観バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.0

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする Q1のスコア= 3.0

Q2 長く使い続ける Q2のスコア= 3.0

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4

LR1 エネルギーと水を大切に使う LR1のスコア= 3.6

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす LR2のスコア= 3.0

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
LR1 エネルギーと水を大切に使う	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (環境品質)、L: Load (環境負荷)、LR: Load Reduction (環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)
- CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE_全、Q_全、LR_全などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
- 「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
- 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_全2、LR_全1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)
- ライフサイクルCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「CO₂計算」シートを参照されたい

(様式3-2 第8条第1項関係：評価結果) (建築・SDGs チェックリスト有りの場合)

CASBEE®-建築(新築)

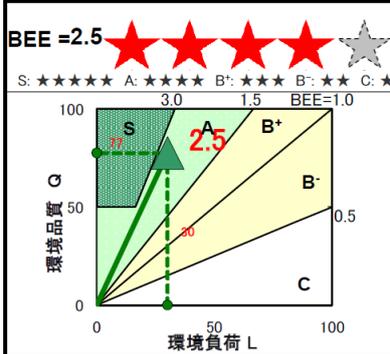
評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	0		階数	0
建設地	0		構造	0
用途地域	0		平均居住人員	0 人
地域区分	5地域		年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途			評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	1900年1月	予定	評価の実施日	
敷地面積		0 m ²	作成者	
建築面積		0 m ²	確認日	
延床面積		m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

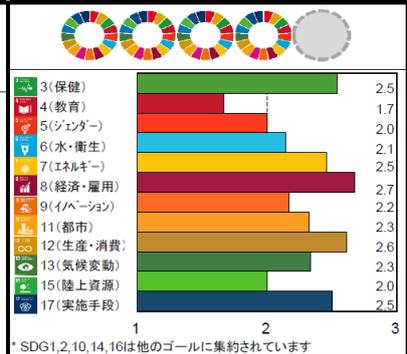
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



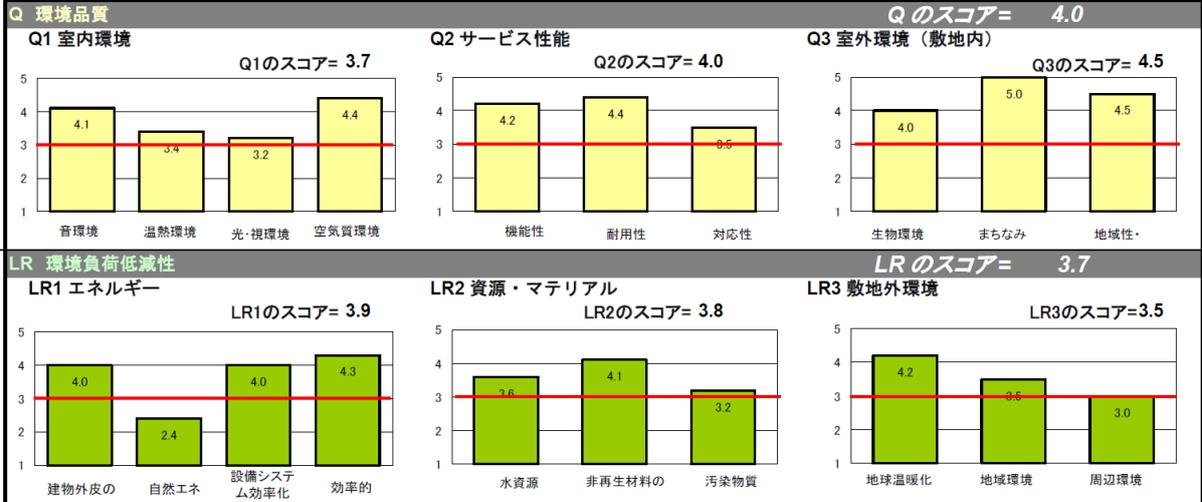
2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)



2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果



2-4 中項目の評価(パーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合			その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

(様式3-3 第8条第1項関係：評価結果) (不動産・SDGsチェックリスト有りの場合)

CASBEE-RE,2024v1.0.1サンプル.xlsx

CASBEE®-不動産 【オフィス】 評価結果

建物名称	〇〇ビル	敷地面積	〇〇〇	m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	〇〇〇〇市XXXXX	建築面積	〇〇〇	m ²	評価の実施日	20XX/XX/XX
用途地域	商業地域、防火地域	延床面積	〇〇〇	m ²	作成者	〇〇〇
建物用途	事務所	階数	地上〇〇F		不動産評価員番号	〇〇〇
竣工年月	19XX/XX/XX	構造	RC造		確認日	20XX/XX/XX
最近の大規模改修実施年月	20XX/XX/XX	平均居住人員	XXX	人	確認者	〇〇〇
		年間使用時間	XXX	時間/年	不動産評価員番号	〇〇〇

評価結果	58.8 /100	合計	ホールライフカーボンの評価	
(得点 /満点)				
Sランク:★★★★★	≥ 78	★★★★★		
Aランク:★★★★	≥ 66	★★★★		
Bランク:★★★	≥ 60	★★★		
Bポイント:★★	≥ 50	★★		
Bポイントは小数点第1位までの表示とする				
取組項目数: A1-A5		0	B1,B3-B5	0
B6-B6		0	C1-C4	0

1. エネルギー/温暖化ガス			
評価	最大加点点	必須項目	指標 (※は参考値)
適合	加点点	省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	評価値
15.0	25	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(目標値)
			MJ/m ² ・年
			一次エネルギー(計画値)
			MJ/m ² ・年
			二次エネルギー(*)
			kWh/m ² ・年
			GHG排出量(*)
			kg-CO ₂ e/m ² ・年
3.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	一次エネルギー(実績値)
			MJ/m ² ・年
			二次エネルギー(*)
			kWh/m ² ・年
			GHG排出量(*)
			kg-CO ₂ e/m ² ・年
3.0	0	1.3 省エネルギー(仕様評価)	評価しない
3.0	5	1.4 自然エネルギー(前後利用)	評価しない
21.0	35	合計	利用率
			%

2. 水			
評価	最大加点点	必須項目	指標
適合	加点点	目標設定、モニタリング、運用管理体制	評価値
3.0	5	2.1 水使用量(計算値)	水使用量(目標値)
			L/m ² ・年
			水使用量(計画値)
			L/m ² ・年
3.0	0	2.2 水使用量(仕様評価)	評価しない
3.0	5	2.3 水使用量(実績値)	水使用量(実績値)
			L/m ² ・年
6.0	10	合計	

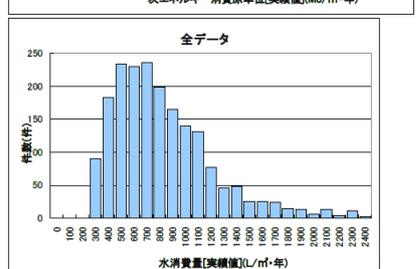
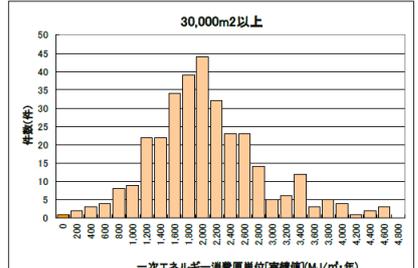
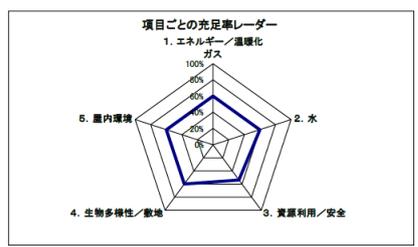
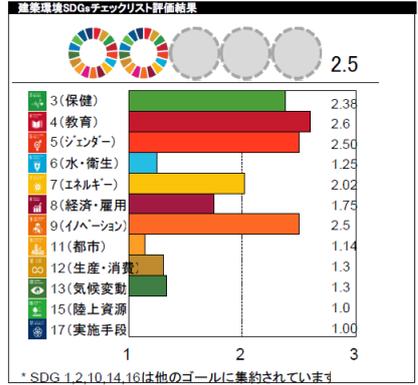
3. 資源利用/安全			
評価	最大加点点	必須項目	指標
適合	加点点	新耐震基準への適合または仕様、仕様	評価値
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	なし
3.0		3.1.1 耐震性	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価
3.0		3.1.2 免震・制震・耐震性能	
2.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	
3.0		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する
1.0		① 躯体材料	
		② 非構造材料	
3.0	5	3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	評価しない
3.0		3.3 躯体材料の耐用年数	リサイクル材品目数(非構造材)
2.7	5	3.4 主要設備機器の更新必要期間/設備の自給率向上/維持管理/バリアフリー	経過年数+今年度の想定耐用年数
3.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要期間	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均
3.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	更新年数の平均値
3.0		3.4.3 維持管理	自給率向上の取組数
2.0		3.4.4 バリアフリー対策	維持管理に関する取組数
10.8	20	合計	

4. 生物多様性/敷地			
評価	最大加点点	必須項目	指標
適合	加点点	特定外来生物・未特定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし
3.0	5	4.1 生物多様性の向上	① 2対象外の時は点数を倍
3.0	5	4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生	② 取組による場合のポイント数
3.0	5	4.3 公共交通機関の接近性	なし
3.0	5	4.3.1 公共交通機関の接近性	
3.0	5	4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない
3.0	5	4.4 自然災害リスク対策	鉄道駅またはバス停からの距離
			分圏内
			リスクの合計数
			種類
12.0	20	合計	

5. 屋内環境			
評価	最大加点点	必須項目	指標
適合	加点点	建築物衛生管理基準の準拠または品質向上への適合	なし
3.0	5	5.1 昼光利用	5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3
3.0		5.1.1 自然採光	
3.0		5.1.2 昼光利用設備	開口率
			%
3.0	5	5.2 自然換気性能	昼光利用設備
			種類
3.0	5	5.3 眺望・視環境	自然換気有効開口面積
			m ²
			天井高
			m以上
9.0	15	合計	

6. ホールライフカーボンの評価(任意)			
評価	最大加点点(なし)	指標	評価値
5.0	5	取組数	A1-A5
			B6-B7
			B1,B3-B5
			C1-C4

オフィス評価結果



環境性能の特徴

(様式3-4 第8条第1項関係：評価結果) (ウェルネスオフィス・SDGs チェックリスト有りの場合)

CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

■使用評価マニュアル：CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-WO_2021(v1.1)

1-1 建物概要				1-2 評価パターン	
建物名称	0	階数	0	評価対象	パターン3
建設地	0	構造	0	1-3 外観	
用途地域	0	平均居住人員	0人	<p>がらびース等 面を貼り付けるときは シートの保護を解除してください</p>	
地域区分	0	年間使用時間	0時間/年(想定値)		
建物用途	0	評価の段階	運用段階評価		
竣工年	1900年1月 0.0	評価の実施日			
敷地面積	0㎡	作成者			
建築面積	0㎡	確認日			
延床面積	0㎡	確認者			

2-1 総合評価	2-2 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>Rank: S 80.2 /100</p> <p>S ランク: ★★★★★ > 75 A ランク: ★★★★☆ 65 B+ランク: ★★★☆☆ 50 B-ランク: ★★☆☆☆ 40 C ランク: ★☆☆☆☆ < 40</p>	

2-3 中項目の評価(バーチャート)		
<p>基本性能</p> <p>Qw1 健康性・快適性 Score: 4.0</p> <p>空間・内装 音環境 光・視環境 熱・空気環境 リフレッシュ 運動</p>	<p>Qw2 利便性向上 Score: 4.7</p> <p>移動空間・ 情報連携</p>	<p>Qw3 安全・安心性 Score: 4.4</p> <p>災害対応 有害物質対策 水質安全性 セキュリティ</p>
<p>運用管理</p> <p>Qw4 運営管理 Score 4.3</p> <p>維持管理計画 満足度調査 災害時対応</p>	<p>プログラム</p> <p>Qw5 プログラム Score = 4.6</p> <p>ヘルスケア対策 情報共有 インフラ 健康維持・増進プログラム</p>	<p>参考：知的生産性の視点に基づいた評価</p> <p>作業効率 知識創造 意欲向上 人材確保</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	0	
Qw1 健康性・快適性	Qw2 利便性向上	Qw3 安全・安心性
0	0	0
Qw4 運営管理	Qw5 プログラム	その他
0	0	0

(様式 3-5 第 8 条第 1 項関係：評価結果) (街区・SDGs チェックリスト有りの場合)

CASBEE®-街区

評価結果

■使用マニュアル：CASBEE-街区 2024年版 ■制作ソフト：CASBEE-UD_2024v1.0

1-1 街区の概要		1-2 対象区域																															
開発名称 所在地 区域面積 竣工(供用開始)年 地域・地区 (指定建築率/容積率) 標準建築率/容積率	Aプロジェクト 東京都千代田区 5.0 ha 2024年1月 (1) 商業地域、防火地域 (80% / 800%) (2) (0% / 0%) (3) (0% / 0%) (4) (0% / 0%) 70% / 445%	適用制度・事業 許容建築率/容積率 敷地面積 建築面積/計画建築率 延床面積/計画容積率 評価の実施日 作成者 確認日 確認者	第一種市街地再開発事業 100% / 700% 2.5ha 16000㎡ / 64% 200000㎡ / 800% 2024/X/X 1) ■■■■ 2) ■■■■ 3) ■■■■ 4) ■■■■ 5) ■■■■ 6) ■■■■ 2024/X/X □□ □□																														
2-1 街区の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ホールライフカーボン																															
<p>BEE = 1.0 ★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>		<p>☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th>コミットメント</th> <th>開発段階</th> <th>開発段階</th> <th>全段階</th> </tr> <tr> <td>部分的削減</td> <td>or</td> <td>and</td> <td>具体的削減</td> </tr> <tr> <td>抑制策実施</td> <td>運用段階</td> <td>運用段階</td> <td>公開</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>削減目標</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>A1 原料削減</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>A2 工場削減</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>A3 輸送</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>A4 現場削減</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>A5 施工・設置</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> </table>		コミットメント	開発段階	開発段階	全段階	部分的削減	or	and	具体的削減	抑制策実施	運用段階	運用段階	公開	削減目標	現状値	目標値	A1 原料削減	0.00	0.00	A2 工場削減	0.00	0.00	A3 輸送	0.00	0.00	A4 現場削減	0.00	0.00	A5 施工・設置	0.00	0.00
コミットメント	開発段階	開発段階	全段階																														
部分的削減	or	and	具体的削減																														
抑制策実施	運用段階	運用段階	公開																														
削減目標	現状値	目標値																															
A1 原料削減	0.00	0.00																															
A2 工場削減	0.00	0.00																															
A3 輸送	0.00	0.00																															
A4 現場削減	0.00	0.00																															
A5 施工・設置	0.00	0.00																															
2-3 街区環境SDGsチェックリスト評価結果																																	
2-4 中項目の評価(バーチャート)																																	
Q 環境品質		Q のスコア = 3.0																															
Q-1 環境	Q-2 社会	Q-3 経済	M マネジメント性能																														
Q-1 のスコア = 3.0	Q-2 のスコア = 3.0	Q-3 のスコア = 3.0	M のスコア = 12.0																														
LR 環境負荷低減性		S のスコア = 9.0																															
LR-1 エネルギー	LR-2 資源	LR-3 周辺環境	S																														
LR-1 のスコア = 3.0	LR-2 のスコア = 3.0	LR-3 のスコア = 3.0	S のスコア = 9.0																														
3 計画上の配慮事項																																	
総合		その他																															
Q-1 環境	Q-2 社会	Q-3 経済																															
LR-1 エネルギー	LR-2 資源	LR-3 周辺環境																															
4 上位計画との整合性																																	
上位計画等																																	
○○○																																	
○○○																																	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (街区の環境品質), L: Load (街区の環境負荷), LRL: Load Reduction (環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (街区の環境効率)

(様式4 第8条第1項関係：認証票)

認証票の様式は、以下の表及び注記に定める通りとする。

ツール名	CASBEE-建築（新築） の場合	CASBEE-建築（既存） の場合	CASBEE-建築（改修） の場合	CASBEE-戸建（新築） の場合
認証票の様式	 	 	 	 
	ツール名	CASBEE-不動産の場合	CASBEE-ウェルネス オフィスの場合	CASBEE-街区の場合
認証票の様式	 	 	 	

注

1. 上表はカラー版及びモノクロ版の認証票を表す。
2. ツール名に続けて認証交付年を西暦で記載する。
3. 星印は認証内容のうち、評価結果のランクを表す（Sランク：★★★★★、Aランク：★★★★、B+ランク：★★★、B-ランク（CASBEE-不動産の場合はBランク）：★★、Cランク：★）。